



十五夜のお話

むかし(旧暦が使われていたころ)は、7月から9月までが「秋」とされており、真ん中に当たる8月は、「仲秋」とよばれていました。この月の15日(十五夜)の夜に出る満月は、「仲秋の名月」と言われ、収穫を祝ってお祝いをし、月見をする風習がありました。これは、平安時代に中国から伝わり、各地に広まったそうです。

秋の収穫の始まるころとも重なり、お月見には、収穫祭の意味もこめられています。現在では、9月後半から10月初めごろになります。

今年の十五夜は、9月10日です。

あすなる書房

「和の行事絵本」より



敬老の日は昭和41年から国民の祝日(9月15日)に加えられた祝日です。現在では、9月の第三月曜日に設定されています。

「多年にわたって社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日」だけではなく、全ての国民が高齢福祉について、関心と理解を深める日であると言えます。

園では、子どもたちに「おじいちゃん、おばあちゃんがいたから、お父さんお母さんが生まれ、自分たちがいるんだ」ということを伝えます。

日頃からお年寄りを尊敬し、大切にすることが育って欲しいと願っています。



令和4年 9月の園だより



すいこう認定こども園

こども会議開催!

～子どもたちとの対話を大切に～

8月6日の平和祈念日を前に、年長さんが『戦争をしない大人になるために』というテーマで、こども会議を行いました。すいこうでは、日頃の保育の場面で子どもの声に耳を傾け、思いを受け止めることを大切にしていますが、一つのテーマで話し合うことによって、いつもは見るできない子どもの姿に出会えたり、「こんなことを思っているんだ」と感じさせられたりすることがあるのではないかと思います。どんなこどもの姿に出会えるのか楽しみに、こども会議に参加しました。

まず、年長児が5、6人のグループになり、各グループに保育者が一人つき、会議を進めていきました。「子どもはけんかはするけど、戦争はしない。戦争をしない大人になるためにどうしたらいいんだろう」と保育者が話すと、なかなか発言のないグループ、思い思いに話すグループとさまざまでしたが、そんな中で子どもたちから出た意見は、「けんかをしない子どもになる。優しい気持ちの時は、けんかにならないよ。」とか「けんかになって、噛んだり、叩いたりするけど、そんな時は、悲しい気持ちで噛んだり、叩いたりしているんじゃないかな。」などと、日頃聞くことのできない意見が出ていました。こども会議を進める中で、同時に意見を言いそうになったら、「さっき私が言ったからどうぞ」と譲ったり、おしゃべりしている子に「今、〇〇ちゃんが話しているから聞いてあげて。」などと言う子どももあり、年長さんとしての成長を感じる場面もありました。「けんかはね、幼稚園だけでなく、おうちでもあるよ。」「兄弟げんかもするし、パパとママもけんかする。」とちょっと悲しそうに話すKくん。「Kくんのパパとママはとっても仲良しじゃない。」と言うと、「ああ見えてね…」と大人の口調が何とも言えず可愛く見え、また、大人が子どもを見ているようで、子どもの方がずっと大人のことを見ているんだということも感じました。子どもは大人の思っている以上にいろいろなことを考え、感じ、言葉を選択して使っています。それを受け止めてもらったことで安心し、また、話したい、誰かに思いを伝えたいと思うのです。

～赤ちゃんだって、対話をしているのです～

言葉がしゃべられるようになった子どもたちだけが対話できるわけではありません。8月号「みてみてあのね…」で、主任がお伝えしていますが、戸川先生が赤ちゃんク

ラスで遊んでくださった時のことです。初めは、戸惑って近づこうとしなかった赤ちゃんたちですが、新聞紙やティッシュペーパーなどを吹き飛ばして楽しそうに遊ぶ戸川先生を見て、次第に笑顔になり、側によっていく赤ちゃんたち。特に興味を持ったSくんは、笑顔でティッシュを差し出し「もう一回」と言っているようです。それに応えてくださる戸川先生。吹き飛ばしたティッシュを拾っては差し出すSくん。また吹き飛ばす戸川先生。二人の間では「もう一回やって。」「いいよ。見ててよ。」と心と心で会話がされていたように思えました。こういう光景は、保育現場ではよくあり、はらぺこあおむしの絵本を読んでもらっている時、さなぎがちょうちょになる場面で、後ろに座っていた私を見て、笑顔でうなづくMくん。「ねっ。ちょうちょになったよ。すごいでしょ。」と言っているのだと思い、「きれいなちょうちょになったね。」という思いで笑顔を返しました。目と目で会話をし、心と心がつながったと感じた瞬間です。赤ちゃんでも言葉を発することが十分でない子どもたちでも、いつも何かを伝えようとしているのです。小さい時からその思いをしっかりと汲み取ってあげることで、周りの大人へ期待感を持ち、人の話に耳を傾け、自分の思いを言葉にして伝えることができる子どもになっていくのです。

年長さんのこども会議は、定期的開催する予定です。次回の子ども会議の様子は、きっぷノートで配信します。

お盆明けからまた、広島県内においてコロナウイルス感染症が猛威を振り、8,000人を超えるなど過去最多を記録する日も増えています。感染力の強いデルタ株(BA.5)は、園内でも乳幼児に感染が見られています。ワクチン接種が難しい子どもたちを守るために、今まで通り、手指消毒の徹底、室内でのマスク着用、換気はもちろん、オゾン発生装置なども活用して、感染対策に取り組んでまいります。しかし、子どもたちは、友だちとの関わり、特に異年齢での関わりの中で育まれる目には見えない大切な育ちがあります。また、運動会など、お子さんの成長を間近で見ることのできる行事も予定しております。ご家族を含め、お子さんの体調などに十分配慮していただき、万全な感染対策に努めながら、楽しいあそびをすすめていきたいと思っておりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。 園長 上原 玲子



子育てメッセージ

子どもという
新しい存在との
出会いに感謝

産声を覚えていますか?
初めて対面したときのことを
覚えていますか?

子どもたちの出生からの日々…
子どもの笑顔、寝顔は、心とませてくれる、まるで魔法の薬。
どんなに忙しくても、
どんなに苦しくても、
その魔法の薬で何度、
癒されたことでしょう。
あなたに出会えてほんとうによかった。
ほんとうにありがとう。

(公社)全国私立保育連盟
子育てメッセージ



9月1日は 防災の日

すいこうは、大雨などによる土砂災害危険地域には、指定されていません。また耐震基準もクリアしていますが、それらの災害が起こった場合、道路が遮断されるなどして、保護者の方のお迎えが難しくなる場合を想定し、24時間以上園児をお預かりできるよう、防災倉庫に飲料水、食糧を始め、自家発電機などの生活用品を揃えています。そのような災害が起こらないよう祈るばかりですが、もし起こったら、どうするか、ご家族で話し合っておくといいですね。

